青森市町会連合会事務局発行

# 事務局

10.70

56.8

## 防犯灯寄贈先きまる

巷の防犯灯(東北電力青森営業所寄贈)十五灯は次の町会に寄贈しました。

西滝、久栗坂南、平岡、中央古川、本広町、田茂木野、泉川、志田、雲谷、松元台、六枚橋、犬切、二、白銀野見取東(今回は駅前ポン引き地帯の町会を考慮に入れた。)

## 百の説法一見に如かず

2/7。東部(個地区)連合町会(婦人)梨木清掃センター見学(人員五十名、当会より参加者へポリ袋一把(10枚入)進呈

## ねぶた祭町会長会議

恒例の観光協会主催のねぶた祭町会長会議は2/20、二時より市工会館五下で開催。

## 町内婦人のつどい

2/22午前九時半より十一時五十分迄、於市工会館。事例発表者三名は次の方へお願いした。

○リサイクル実施について
沖館第三町会長　石戸谷忠夫氏

○冠婚葬祭の簡素化について
北後潟町会長　千島信太郎氏

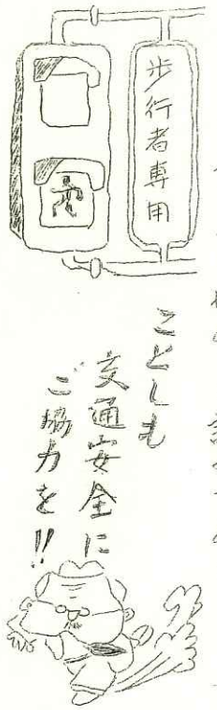
○常バスの利用について
平和台町会長　五十山風千代治氏

時間も少いので、各五分以内で発表していただき、これをイントロに出席者の意見をひきだし、話し合いの場をつくりたいようにしました。市長始め関係部課長も出席願い助言をいただく予定。

## 市長と地区連合会長との語る会

九月一日、午后一時より市民会館食堂会議室でひらく予定。

この場合は、地区連合町会で市長と語る会とは内容がちがって、全市的な問題をとりあげることになる。各会長からの問題も、一応選定することも考えられる。選定された問題は八月初旬までに市へ提示、市でも事前に検討の上、会にのぞむことになろう。当会としては始めての試みである。




こどもも
交通安全に
ご協力を!!

## 伸び行く町連

### いまこそ冠婚葬祭の簡素化につとめよう。

右の標語とイラストを入れたチラシ六千枚を印刷、いずれ回覧用として隣組を通して町民各位の目にふれることと思う。

字数をなるべく少く、一分以内によみ終えるように、イラストを多く、直観的に理解できるようにと、心がけて制作したつもりである。簡素化は、社会の上層部の人が率先して実行しない限りなかなか面倒な時間のかかることである。テレビの影響か、最近はホテルの結婚披露宴のようである。葬祭も50万、80万と祭だんにお金をかけているようであるが、どうせいまの寺はダニ寺である。ダニ寺として(の)機能を充実させたらどうか。祭だんを始めから備えつけておけば、安い使用料ですむ筈である。寺は坊主がつくったものでもなく、葬儀屋が建てたものでもない。多くの檀家の寄付によって建てられたものである。少しは、不幸の檀家のためになるようにできないものか。花輪も最近は殆ど二万円前後の生花になったが、これも親戚だけにして、他は献花料として、差し上げた方が遺族のためによいのではないか。これらは既に実行している地域もある。弔電などは葬前にそのまま供えるべきで、皆の前でよみあげるべきでない。式に欠席した者の名前をよみあげるなら、出席者の名前をよみあげた方がよい。(月満寺住職・権大僧正・山口県・松下日孝著書より)

祝・不祝の式は、当事者はそれでよいとしても、参加者にとっては無関心でいられなくなってきている。とくに停年退職の年金生活者は、退職後も交際費はあまり変らない。今月はこれで祝儀三回目だという年金生活者の表情は複雑である。最近は寺も神社も境内は殆ど駐車場である。境内は緑深く、入っただけで何となく身がひきしまり、自然に頭が下る場所である筈だが、いまは排気ガスで樹も育たぬだろう。宗教法人法でも規制している筈だが。とにかく、こんな境内では有難味はさっぱりない。やはり、日本人は無宗教民族なのだろうか。

### 町会長の平均年令は

東部地区 61.3才　南部地区 60.1才　中部地区 65.4才
西部地区 65.0才　北部地区 58.6才

最近は少しずつ若返ってきている。

夏は暑いのがほんもの。
暑中のご健康に
ご留意ください。